

# 令和6年度6月補正予算の概要

令和6年6月萩市議会定例会

令和6年6月

萩市総務部財政課



## ● 今回補正する会計の補正予算額

補正予算を計上する会計は、一般会計（11事業のうち新規1事業、拡充2事業）、国民健康保険事業（事業勘定）特別会計（1事業）の2会計で、全12事業（うち新規1事業、拡充2事業）です。

補正予算を計上する会計	補正号数 (回数)	今回の補正予算額
一般会計	第2号	4,869万7千円
国民健康保険事業（事業勘定）特別会計	第1号	204万7千円
一般会計+特別会計の補正予算額 計		5,074万4千円

## ● 一般会計

### 1. 補正予算の主な概要

今回の補正は、インバウンド対策として情報発信や受入環境の整備を行う事業、伝統産業である萩焼やG1萩の清酒の新たな市場開拓を図る事業、福祉施設における光熱費や食材価格の高騰に伴う経費を支援する事業、新規漁業就業者への支援を拡充する事業等、市勢の発展及び市民の生活を守るために必要な事業を計上するものです。

### 2. 補正予算額

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
313億4,026万円	4,869万7千円	313億8,895万7千円

### 3. 補正予算額の財源手当

歳入項目	補正予算額	備考
県支出金	430万4千円	
繰入金	3,039万3千円	基金繰入金
諸収入	1,400万円	雑入
合計	4,869万7千円	

## 4. 歳出予算の主な事業内容

### ●コミュニティ助成事業（500万円）

【予算説明書 7 ページ 地域振興費】  
（担当課：市民活動推進課）

地域コミュニティの活性化を目的とした、一般財団法人自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業（活動に直接必要な備品等の整備）について、下記のコミュニティ組織が事業採択を受けたことから、市が助成金を受け入れ、同額を補助金としてコミュニティ組織に交付します。

事業内容：三見地区各種団体連絡協議会 机、椅子、音響機器の購入  
大井地区連絡協議会 テント、机、椅子等の購入

[財源内訳] 雑入（コミュニティ助成事業費・自治総合センター） 500万円

### ●がんばろう萩！福祉施設光熱費高騰対策事業（289万円）

【予算説明書 8 ページ 障害者福祉総務費・老人福祉総務費】  
（担当課：福祉支援課・高齢者支援課）

物価高騰の影響により、光熱費が上昇していることから、市内福祉施設の負担軽減を図り、安定的かつ継続的な福祉サービスの提供を確保するため、光熱費の高騰に伴う経費について支援します。

給付金額：入所系事業所	40万円（定員61人以上）
	25万円（定員41人以上60人以下）
	15万円（定員1人以上40人以下）
通所系事業所	12万円
訪問・相談系事業所	6万円

対象施設：障がい者施設、介護保険施設及び高齢者施設のうち県の障害者支援施設  
・介護施設等光熱費高騰緊急対策支援金の対象外となる施設

[財源内訳] 一般財源 289万円

## ●がんばろう菽！福祉施設食材価格高騰対策事業（736万3千円）

【予算説明書 8 ページ 障害者福祉総務費・老人福祉総務費】  
（担当課：福祉支援課・高齢者支援課）

物価高騰の影響により、食材価格が上昇していることから、市内福祉施設の負担軽減を図り、安定的かつ継続的な福祉サービスの提供を確保するため、食材価格の高騰に伴う経費について支援します。

事業内容：次の①と②を比較し、低い方の額を補助する。

- ① 食材料費の対前年増加額  
令和6年度の食材料費－令和5年度の食材料費
- ② 補助金の交付上限額  
補助基準額×利用者数  
入所施設 21,600円（利用者1人当たり）  
通所施設 6,400円（利用者1人当たり）

対象施設：障がい者施設、介護保険施設及び高齢者施設のうち県の障害者支援施設  
・介護施設等物価高騰緊急対策支援事業補助金の対象外となる施設

〔財源内訳〕 一般財源 736万3千円

## ●民間保育所等給食費物価高騰対策支援事業（230万4千円）

【予算説明書 9 ページ 児童措置費】  
（担当課：子育て支援課）

物価高騰の影響に伴い、食材価格が上昇していることから、保護者に給食費の増額負担を求めることなく、これまでと同様に栄養バランスや地産地消に配慮した給食の提供を行うため、民間保育所等に対して、食材価格の高騰相当分を支援します。

事業内容：令和3年度と令和6年度の食材料費を比較し増額分を補助

対象施設：民間保育所 4園  
認定こども園 2園

〔財源内訳〕 民生費県補助金 230万4千円

## ●＜拡充＞新規漁業就業者定着促進事業（500万円）

【予算説明書 9 ページ 水産業振興費】

（担当課：水産課）

漁船の高性能化等に伴う市場価格の上昇に対応するため、県が漁船等リース事業における補助対象事業費の上限額を引き上げたことから、市においても同様に上限額を引き上げ、新規漁業就業者の経営安定化を図ります。

事業内容：山口県漁業協同組合が実施する漁船等リース事業の費用を補助する。

50歳未満 県と市が補助

（県1/4、市1/4、漁協1/2）

50歳以上 市が補助

（市1/4、漁協3/4）

事業主体：山口県漁業協同組合

事業費：1件当たりの補助対象事業費上限額

補正後 800万円

補正前 400万円

予定人数：50歳未満 2人

50歳以上 1人

[財源内訳] 農林水産業費県補助金 200万円、一般財源 300万円

## ●＜新規＞萩伝統産業海外マーケティング事業（1,225万5千円）

【予算説明書 10 ページ 商工業振興費】

（担当課：商工振興課）

世界の情報発信拠点であるニューヨーク市において、伝統産業である「萩焼」と国の指定を受けている「G I 萩の清酒」のPRイベントや新規商流構築に向けた商談会等を開催し、新たな市場開拓を目指すとともに、「萩」の知名度向上を図ります。

事業内容：萩焼・G I 萩の清酒を用いた萩市PRイベント  
商談会、現地関係機関訪問  
ニューヨーク山口県人会との連携体制構築等

日 程：8月24日（土）～28日（水） 5日間

参 加 者：萩焼作家2人、酒造事業者2人、市職員3人

[財源内訳] 雑入（萩伝統産業海外マーケティング事業費・自治体国際化協会）  
400万円、一般財源 825万5千円

## ●＜拡充＞インバウンド対策事業（1,448万2千円）

【予算説明書10・11ページ 観光振興費・文化財保護費】  
（担当課：観光課・文化財保護課）

ニューヨーク・タイムズ紙が発表した「2024年に行くべき52か所」で、山口市が3番目に選ばれ、世界からも注目されており、萩市においても外国人観光客の増加が見込まれることから、萩版DMO戦略における海外ターゲットに向けて、効果的な情報発信を行うことで、萩市の認知度向上を図るとともに、受入環境を整備することで、外国人観光客の満足度向上を図ります。

### ＜情報発信＞

事業内容：デジタルサイネージの掲載（JR新山口駅）  
萩市観光協会ホームページ（英語版）の拡充  
外国人旅行者向け旅行プラン等のプロモーション

### ＜受入環境の整備＞

事業内容：英語版パンフレットの作成、萩市観光協会ホームページ等への掲載  
（萩往還、長門峡）  
外国人旅行者向け旅行プランの造成  
文化財施設における通信環境の整備

[財源内訳] 雑入（インバウンド対策事業費・山口県市町村振興協会） 500万円  
一般財源 948万2千円



## ● 国民健康保険事業（事業勘定）特別会計

### 1. 補正予算の概要

今回の補正は、マイナンバーカードと健康保険証の一体化事業を計上するものです。

### 2. 補正予算額

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
66億8,020万円	204万7千円	66億8,224万7千円

### 3. 補正予算額の財源手当

歳入項目	補正予算額	備考
県支出金	△191万4千円	
繰入金	△59万7千円	一般会計繰入金
国庫支出金	455万8千円	
合計	204万7千円	

### 4. 歳出予算の事業内容

#### ●マイナンバーカードと健康保険証の一体化事業（204万7千円）

【予算説明書 19 ページ 一般管理費】  
（担当課：市民課）

令和6年12月2日から、マイナンバーカードと健康保険証が一体化されることから、国から追加で示された指針に基づき、国民健康保険電算システムの改修や市民への周知を行います。

事業内容：国民健康保険電算システムの改修  
啓発リーフレットの作成  
加入者情報を特定記録郵便で送付

〔財源内訳〕 国庫支出金 455万8千円、県支出金 △191万4千円  
繰入金 △59万7千円